重点目標 | Ⅰ 日本一の健康長寿県づくり　3 こどもまんなか社会の実現 <妊娠期から子育て期の支援体制強化> <発達の気になる子どもの支援体制整備> | 日本一の健康長寿県構想 高幡地域推進協議会 | 資料１ ③

1　現　状　（令和７年度の取組）

【管内の出生状況】　※1　出生：1～12月

	須崎市	中土佐町	檮原町	津野町	四万十町	管内	県
人口（人）（R6.4.1推計）	18,901	5,353	3,023	4,935	14,326	46,538	659,592
出生数（人）（R6）※1	57	13	8	19	44	141	3,108

【発達相談会】

	R5	R6	R7
回数	11回	10回	10回
利用人数	32	27	27

【管内産科医療機関】
・１施設
（分娩取り扱いなし
週１回妊婦健診のみ）



【こども家庭センター等設置状況(R8.４時点)】

	須崎市	中土佐町	檮原町	津野町	四万十町
こども家庭センター	R8設置	R7設置	未定	R8以降予定	R6設置
子育て世代包括支援センター（母子保健）	H29設置	R4設置	H29設置	R2設置	R2設置
子ども家庭総合支援拠点（児童福祉）	R4設置	R4設置	―	R4設置	R4設置

【管内の障害児福祉サービス】・全て須崎市内

運営主体	事業所名	児童発達支援	放課後等ディサービス	保育所等訪問
（医療法人）五月会	なちゅら	○	○	○
（株）三葉	COMPASS 発達支援センター須崎	○	○	
（社団法人）チャイルドライフ	通所支援 ベルテール須崎園		○	

1　妊娠期から子育て期の支援体制強化

（１）妊娠期からのポピュレーションアプローチによる相談支援体制強化
・管内市町を訪問し、各市町の令和７年度の重点取組等を確認（５月）
・母子保健担当者連絡会：第１回（７/７　13人）第２回（2/20　12人）
・母子保健担当者研修会：「幼児健康診査時における問診での発達確認のポイント」（7/7　17人）、「災害時の母子支援」（10/6　24人）
（２）各市町内での関係者が協働したこども家庭センター運営強化と設置促進
・設置に向けた市町の協議への参画：須崎市（5/14）
・管内市町訪問、母子保健担当者連絡会（再掲）での情報共有

2　発達の気になる子どもの支援体制整備

（１）関係機関連携による障害児のサービス体制強化
・発達の特性のあるこどもと家族への地域支援体制づくりに関する研修会in須崎：Q-SACCSを更新し各関係機関の事業等を可視化した地域診断を共有（9/5 34人）
・発達の気になる子どもの支援体制検討会：支援体制充実に向けた協議（11/7 33人）
・市町障害者自立支援協議会子ども部会への参画：須崎市（3回）、中土佐町（3回）、四万十町（3回）
（２）幼児健診後から就学までの切れ目のない支援体制づくり
こどもの発達相談（10回　27人）専門機関への紹介（17人　63%）
高知県発達障害早期支援エキスパート事業（中土佐町で実施　15回）

2　令和７年度の取組成果

1　妊娠期から子育て期までの支援体制強化

(1)・母子保健担当者研修会では、幼児健診での発達確認のポイントや事後フォローを学び日頃の手技や視点を確認する機会となった。また、災害時の妊産婦や乳幼児支援、平時の備え、被災拠点づくり等を学ぶ機会となった。
・管内市町の連絡会では、重点取組や産後ケア等の取組状況を共有し、自市町での取組に活用した。
(2)・須崎市のこども家庭センター設置に向けた具体的な協議が進んだ。こども家庭センター設置・運営の課題や必要な取組を共有できた。

2　発達の気になる子どもの支援体制整備

(1)・研修会でQ-SACCSによる地域診断を更新し、課題発見から解決への具体的な考え方を学べた。
・支援体制検討会や市町障害者地域自立支援協議会こども部会等で、課題解決に向けQ-SACCSを活用した検討が進んだ。
・教育委員会も参加し、保健・福祉・教育各部署の取組や視点を共有できた。
(2)・幼児健診要フォロー児や保育所で発達の気になる子どもの見立てや支援の検討の場として事業が活用され、保護者や支援者間で共有する機会となった。

3　令和８年度の取組（R8.8月末までの実績）

1　妊娠期から子育て期の支援体制強化

(1) 妊娠期からのポピュレーションアプローチによる相談支援体制強化
(2) 各市町内での関係者が協働したこども家庭センター運営強化とこども家庭センター設置促進
拡 (3) 出生数減少に対応した乳幼児健診、５歳児健診実施に向け検討
拡 (4) 災害時の母子支援の現状の共有と支援体制づくり
・市町ヒアリング（５月）
・管内母子保健担当者連絡会　第１回（9/7予定）　第２回（2/24予定）
・管内母子保健担当者研修会
第１回：関わりが難しい親への支援ポイント、子どもの発達を促す関わり（5/18 69名）
第２回：幼児健診問診時の発達確認のポイント、要支援児の事後フォロー（6/30 12名）
第３回：災害時の母子支援（10/20予定）

2　発達の気になる子どもの支援体制整備

(1) 関係機関連携による障害児のサービス体制強化
・発達の気になる子どもの支援体制検討会（11/4予定）
・Q-SACCSによる地域診断で可視化された各市町の課題解決に向けた取組支援（随時）
(2) 幼児健診後から就学までの切れ目のない支援体制づくり
・こどもの発達相談（11回/年予定）
・発達相談フォローアップ事業・教育相談員派遣事業（１件　6/9）